

基本目標 1：基盤産業の振興と起業・創業の推進による雇用の確保

■現状と課題

- ・本市は、東京都内でも有数の産業都市としての側面を有しています。就業者数に着目すると、製造業、情報通信業、卸売・小売業、建設業、医療・福祉などに従事する方が多くなっています。【人口分析結果より】
- ・市内に全国有数の企業が数多く立地していることは本市の強みでもありますが、一つの企業の業績や工場撤退等の動向に大きく影響を受けるリスクも有しています。【人口分析結果より】
- ・産業都市としての本市の強みを生かし、安定した雇用を確保し続けるとともに、地域経済を支える強い産業構造を構築していくことが課題です。また、若い世代が安心して家庭を持ち、子育てができるよう、正規雇用や短時間就労などさまざまな就労ニーズに応える魅力ある就労環境をつくることも課題です。

■目標

地域経済と雇用を支える基盤産業の事業継続を支援するとともに、起業・創業の推進や企業誘致により、多様性のある産業構造をめざします。また、子育てや介護などを行いながら働けるなど、さまざまな就労ニーズに応える魅力的な就労環境をつくり、雇用と労働力の確保の両立をめざします。

数値目標	現状値	目標値（H31）	備考
事業所数の多摩地域26市順位	4位 (H21)	4位以内	施策71
製造品出荷額等の多摩地域26市順位	1位	1位	施策73
市内従業者数	48,005人 (H22 国勢調査)	49,000人	—

■講ずべき施策に関する基本方向

（1）基盤産業の経営安定化による雇用機会の維持（経営基盤の強化）

①市内企業の経営支援

②多様な人材の就労支援

（2）起業・創業の推進による産業構造の多様化

①起業・創業の支援

■具体的な施策・施策ごとの重要業績評価指標（KPI）

（１）基盤産業の経営安定化による雇用機会の維持（経営基盤の強化）

①市内企業の経営支援			
<ul style="list-style-type: none"> ・むさし府中商工会議所と連携し、経営指導や金融支援等の中小企業の経営支援を行い、雇用の確保と地域経済の活性化を目指します。 ・商店街のより一層の活性化に向けて自主的に取り組めるような支援を実施します。 ・産・学・金・官の連携等を図り、新たな商品開発や人材交流につなげ、市内産業の振興を支援します。 			
重要業績評価指標（KPI）	現状値	目標値（H31）	備考
融資実行件数	292 件	300 件	
商店街イベント事業補助金交付 商店会数	28 件	30 件	
工業技術展の出展企業数の数	74 団体	80 団体	
主な取組			総合計画の位置づけ
中小企業事業資金融資利子補助や中小企業退職金共済掛金補助を行う。			施策 7 1 中小企業の経営基盤強化の支援
商店街のイベント事業や活性化事業等について補助を行う。			施策 7 2 地域商業の振興
ものづくり産業の活性化を支援するため、産・学・金・官の連携等を図るとともに、府中市工業技術展においてビジネスマッチングを行う。			施策 7 3 工業の育成

②多様な人材の就労支援			
<ul style="list-style-type: none"> ・若い世代の市内における就業機会を拡大し、地域に活力を生み出します。 ・働く意欲のある高齢者が就労相談や就業機会の提供を受け、積極的に地域で活躍することを支援します。 ・講座を開催するなど、出産や介護等の理由により離職した女性の再就職を支援します。 			
重要業績評価指標（KPI）	現状値	目標値（H31）	備考
いきいきワーク府中の就職率	32.1%	36.8%	
女性向け再就職支援講座の参加 人数	〇〇人	〇〇人	
主な取組			総合計画の位置づけ
ハローワーク府中などと連携して、若い世代の就業を支援する。			—
勤労者福祉振興公社が実施する無料職業紹介事業を補助し、ハローワーク府中や東京しごとセンターなどと連携を図る。			施策 1 2 高齢者の就労支援
出産等の理由により離職した女性の再就職を支援するための講座を開催する。			施策 4 1 男女共同参画の推進

（２）起業・創業の推進による産業構造の多様化

①起業・創業の支援			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 起業・創業に関する基礎知識や事例、各種補助金制度の情報などについて、相談体制を確保するとともに、セミナーなどにより、起業・創業希望者を支援します。 ・ コミュニティビジネスの立ち上げや、インキュベーションオフィスの活用など、起業・創業に関する多様な支援を図るための体制を整備します。 			
重要業績評価指標（KPI）	現状値	目標値（H31）	備考
セミナー参加人数	〇〇人	〇〇人	
ガイダンス・個別相談の参加人数	〇〇人	〇〇人	
主な取組		総合計画の位置づけ	
むさし府中商工会議所及び多摩信用金庫と連携した創業支援事業により創業希望者をサポートする。		施策71 中小企業の経営基盤強化の支援	
コミュニティビジネスの起業に関する基礎知識、創業・運営方法などについて全般的な説明を行うガイダンスと個別相談を実施する。		施策59 民間活力による地域貢献活動の促進	

基本目標 2：定住促進に向けたにぎわいの創出とふるさと意識の醸成

■現状と課題

- ・本市は、ケヤキ並木や公園などの豊かな緑、多摩川や湧水などの潤いある水辺環境、武蔵国府跡や大國魂神社のくらやみ祭等の歴史・文化など、誇りのもてるさまざまな財産があります。また、鉄道や道路ネットワークが充実しており、通勤・通学の利便性が高く、府中駅周辺には商業施設が集積するなど、とても暮らしやすいまちです。
- ・全国で人口減少が進む中、本市においては現在も人口が増加し続けています。本市の人口増加は、全国からの転入超過で支えられていますが、近年は、社会増減数、自然増減数が共に減少傾向にあり、その要因は、23区への転出超過、出生数の減少及び死亡者数の増加が挙げられます。この傾向が続けば、想定より早く人口が減少する可能性があります。【人口分析結果より】
- ・本市の中心は、ケヤキ並木を核とした府中駅周辺であるといえますが、近年歩行者交通量が減少してきています。このような中で、本市は、府中駅南口再開発事業や市役所の建替えなどにより、交流とにぎわいのある魅力的なまちづくりを進めています。【市独自調査より】
- ・2020年の東京オリンピック・パラリンピックやラグビーW杯2019日本大会の開催については、スポーツタウン府中や歴史や文化のまちといった府中市の魅力を市内外へ発信するなど、市の発展に向けた様々な取組が求められます。
- ・豊かな自然環境や歴史・文化などの府中市の財産を守り育て、活かしながら、いつまでも住み続けたいという府中市への愛着を一層育てていくことが課題です。

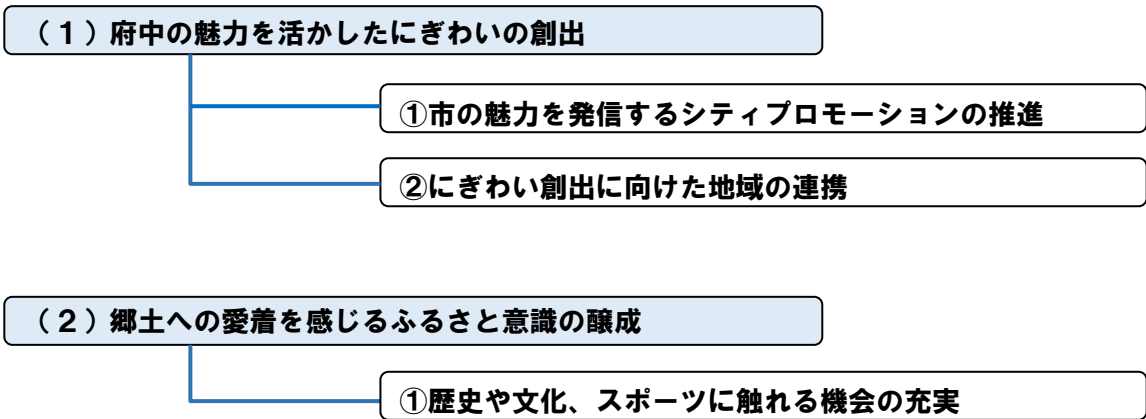
■目標

豊かな自然環境や歴史・文化、盛んなスポーツ活動といった府中の魅力を活かしたにぎわいのあるまちづくりを進め、府中市を訪れたい、住みたいと思う人を増やします。さらに、府中市への愛着を深め、市民のふるさと意識を醸成し、ずっと住み続けたいと思う市民を増やします。

数値目標	現状値	目標値（H31）	備考
市政世論調査「定住意向のある市民の割合」（※）	93.9% (H26 市政世論調査)	95%	—
「府中市に愛着がある」と回答する方の割合	44.6% (H27.8.20 時点定住・子育てに関する意識調査)	〇〇%	—

※定住意向のある市民の割合：市政世論調査で「ずっと住むつもり」「当分は住むつもり」との回答者の合計割合

■講ずべき施策に関する基本方向



■具体的な施策・施策ごとの重要業績評価指標（KPI）

(1) 府中の魅力を活かしたにぎわいの創出

①市の魅力を発信するシティプロモーションの推進			
<ul style="list-style-type: none"> 市民や市内の商業者及び企業・学校等と連携を図り、市の魅力を発信し来訪者の増加を図る。また、市民に対しては、市の魅力を再認識いただき、住み続けたいと思う市民を増やします。 シティプロモーションを行うにあたっては、府中市の魅力の「再発見→発信」を行政だけでなく、「武蔵国 府中大使」や市民、各種団体等と協働で取り組み、にぎわいの増進を図ります。 ふるさと納税制度でのオリジナル性のある返礼品を活用して、府中市の魅力を発信し、全国的に認知される自治体になります。 			
重要業績評価指標（KPI）	現状値	目標値（H31）	備考
府中市の認知度（地域ブランド調査）	〇〇位	〇〇位	
ふるさと納税額	〇〇円	〇〇円	
主な取組		総合計画の位置づけ	
既存の観光資源の整備と活用、新たな資源の掘り起こしを通じて府中市の魅力を磨き、PRによる集客を図る。		施策74 観光資源の活用・創出による地域活性化	
情報が広く、早く伝わるように各種情報媒体を有効に活用し、市の魅力を市内外に発信する。		施策78 広報活動・情報公開の充実	
ふるさと納税に対するオリジナル性のある返礼品を開発し、全国に府中市の魅力を発信する。		—	

②にぎわい創出に向けた地域の連携			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 中心市街地におけるエリアマネジメント活動を推進し、活性化を図ります。 ・ 東京オリンピック・パラリンピック、ラグビーW杯日本大会の開催を機に、さまざまなイベントを実施し、にぎわいの増進を図ります。 			
重要業績評価指標（KPI）	現状値	目標値（H31）	備考
中心市街地の歩行者交通量	50,891 人	〇〇〇〇〇人	
主な取組			総合計画の位置づけ
中心市街地活性化基本計画を基に、府中駅を中心とするエリアの活発な経済活動を推進する。			—
東京オリンピック・パラリンピック及びラグビーW杯日本大会の開催を機に、全国そして海外に府中市の魅力を発信する取組を進める。			—

（２）郷土への愛着を感じるふるさと意識の醸成

①歴史や文化、スポーツに触れる機会の充実			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 府中市の伝統芸能や芸術文化を継承していくとともに、文化施設や歴史・文化遺産を活用して、郷土愛をもてるまちを目指します。 ・ スポーツタウン府中の発展に向け、市内の大学や市内を活動拠点とするトップチームとの連携を深め、府中市ならではの事業を展開します。 			
重要業績評価指標（KPI）	現状値	目標値（H31）	備考
文化・歴史施設への来訪者数	〇〇〇〇人	〇〇〇〇人	
大学やトップチームと連携する事業数	2事業	3事業	
主な取組			総合計画の位置づけ
郷土愛を高めて、市民が愛着を持てるまちとなるように、府中の森芸術劇場、郷土の森博物館、美術館、ふるさと府中歴史館といった文化・歴史施設を運営し、活用する。			施策47 文化施設の有効活用 施策48 歴史文化遺産の保存と活用
市内の各種競技団体やスポーツクラブ、大学やトップチームとの連携と協働による事業を実施する。			施策50 スポーツ環境の整備

基本目標 3：若い世代の出産・子育てへの希望の実現

■現状と課題

- 本市の人口は、近年においても増加し続けていますが、将来を担う子どもの出生数は、横ばいから減少傾向にあります。【人口分析結果より】
- 市民アンケートでは、理想の子どもの人数は平均 2.2 人ですが、現実的に持てそうな人数は 1.6 人との回答が得られており、市民の希望をかなえ、理想の子どもを産み・育てられる環境づくりが求められています。また、理想と現実で持てそうな子どもの数に差がある方の 43.4%が「子育てや教育にお金がかかりすぎる」ことを子どもを増やす際の問題として挙げ、子育て支援に関する改善すべき点として 25.0%が「保育所等の充実」、17.7%が「市の子育てに関わる経済的支援の充実」を挙げています。【アンケート結果より】
- 本市は、都内でも待機児童が多く、待機児童の解消は重要な課題となっています。また、安心して子どもを預けられる環境を作るためには、量的な充足だけではなく、保育の質の維持・向上も必要です。
- 民間の調査（※）では、「住宅購入の際に決め手となる条件」の上位 3 位に学校教育が挙げられているなど、学校教育は、その自治体に居住する際の重要な判断材料のひとつであると考えられます。このため、府中市ならではの魅力的な学校教育の提供が期待されます。

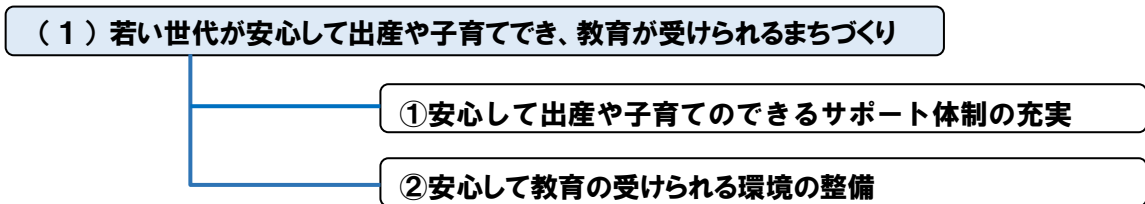
※ウィメンズパーク 住まいミル 『住まい購入のお金事情』調査 『ウィメンズパーク』会員のうち、2006 年 1 月以降に住宅購入の経験のある 25～49 歳の既婚女性 2038 名 <http://suumo.jp/journal/2013/05/07/43488/>

■目標

若い世代が安心して子どもを産み、子育てができるよう切れ目のない支援を行うとともに、未来を担う子どもたちが安心して教育を受けられる環境を確保し、若い世代の出産・子育ての希望をかなえ、出生率の向上をめざします。

数値目標	現状値	目標値（H31）	備考
合計特殊出生率	1.35 (H23 人口動態統計)	1.45	施策 8 ※10 年後の H36 年には 1.6 を目指します
安心して出産し、子育てできると感じている市民の割合	41.1% (H23 市民意識調査)	50%以上	施策 6
教育センターや各学校における授業力アップ、教育相談、ICT などの教職員を対象とした研修の参加者	〇〇人	〇〇人	—

■講ずべき施策に関する基本方向



■具体的な施策・施策ごとの重要業績評価指標（KPI）

(1) 若い世代が安心して出産や子育てでき、教育が受けられるまちづくり

①安心して出産や子育てのできるサポート体制の充実			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 待機児童を解消し、働きながら子育てしやすい環境を確保するとともに、保育の質の維持・向上に努めます。また、地域で子育てをサポートする体制を充実し、安心して子どもを産める環境を整備します。 ・ 子ども医療費助成など、出産や子育てに係る経済的な支援を行います。 			
重要業績評価指標（KPI）	現状値	目標値（H31）	備考
ひろば事業参加者数	24,918人	27,000人	
特定教育・保育施設の数	47箇所	54箇所	
ファミリーサポートセンター事業会員数	1,714人	〇〇〇〇人	
主な取組			総合計画の位置づけ
市の保育士への相談や保護者同士の情報交換、親子が交流できる場を提供するひろば事業を実施する。			施策6 地域における子育て支援
子育てに悩む家庭や出産前後の家庭への訪問サービス、子育てに関する情報の提供やプログラムを実施する。			施策7 子育て家庭の育児不安の解消
義務教育修了前の児童について、保険診療の自己負担分を助成する。			施策8 子育て家庭の経済的負担の軽減
認可保育所等の保育施設の整備を行い、待機児童の解消を図る。			施策10 保育サービスの充実
育児の手助けをして欲しい人と手助けをしたい人がお互いに助け合い、子育て中の方を地域のみなさんで支える会員同士の相互援助活動として「ファミリーサポートセンター事業」を実施する。			施策10 保育サービスの充実

②安心して教育の受けられる環境の整備			
<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちに「生きる力」を育成することを目指して学校、保護者、地域社会が一体となって教育・指導内容の充実を目指します。 各学校の特色や児童生徒の実態に応じた学習活動や体験活動、有識者の講演などを展開する事業を通して、思考力・判断力・表現力等の育成を目指します。 			
重要業績評価指標（KPI）	現状値	目標値（H31）	備考
主な取組			総合計画の位置づけ
学校と地域で協働して教育活動を推進する「コミュニティスクール事業」を実施する。			施策53 教育・指導内容の充実
学校において地域の自然・文化・人材等を活かし、環境・福祉・職場体験など特色ある総合的な学習を展開する。			施策53 教育・指導内容の充実

基本目標 4：地域や家族とつながりある安心な暮らしの確保

■現状と課題

- ・近年、多くの自治体で、自治会の加入率の低下や役員等の固定化・高齢化などが問題となっています。また、古くからの住民と、新しい住民との融合も課題となっています。
- ・平成 26 年度の市政世論調査では、協働で実施する事業への参加経験には約 63%が参加したことがないと回答し、地域や市が開催する清掃活動への参加経験には約 75%が参加したことがないと回答しており、コミュニティの希薄化が問題となっています。
- ・近年、市内の単独世帯（1 人）は増加傾向にあり、世帯全体の 40%を占め、2 人世帯を合わせると 65%に達しています。単独世帯は、20 代の若者だけではなく、中高年男性や高齢者（特に女性）も多くなっています。このため、地域の中で顔見知り、話し合える関係を構築することが重要です。【人口分析結果より】
- ・本市では、市民が利用する公共施設や公園・道路などのインフラの老朽化対策として、公共施設マネジメント及びインフラマネジメントの観点から、良好で安全安心な環境を確保するため、計画的な予防保全に努める必要があります。また、近年では民間の空き家が数多く存在し、社会問題となっており、空き家などを有効活用し、コミュニティ活性化につなげることが求められています。

■目標

市民一人ひとりが地域社会と関わりながら安心して暮らせる環境を目指すとともに、公共施設・インフラの計画的な保全や空き家の有効活用など、地域のつながりをもったコミュニティを活性化するための取組をソフト・ハード両面で推進します。

数値目標	現状値	目標値（H31）	備考
各文化センター圏域での コミュニティ事業参加者数	178,171 人	231,000 人	施策 58
空き家を活用した コミュニティ活動事例	—	〇〇事例	—

■講ずべき施策に関する基本方向

（１）みんなが安心して暮らせる地域づくり

①誰もが安心して暮らし続けられる環境整備

②ひとり暮らし高齢者世帯の地域との関わりの充実

③多世代交流の促進

（２）地域コミュニティの活性化を促すストックの有効活用

①公共施設・インフラの計画的な管理及び運営

②空き家などの活用

■具体的な施策・施策ごとの重要業績評価指標（KPI）

（１）みんなが安心して暮らせる地域づくり

①誰もが安心して暮らし続けられる環境整備

・全ての市民が安心して暮らし続けられるよう、地域の防災・防犯体制を強化するとともに、災害に強い都市基盤づくりを進めます。

重要業績評価指標（KPI）	現状値	目標値（H31）	備考
地域の治安が悪化していると 感じている市民の割合	22.4%	20.0	
住宅耐震化率	87.7%	92.0%	
主な取組			総合計画の位置づけ
地域安全リーダーを育成し、地域安全パトロールの支援を行うとともに、地域における防犯体制の強化を支援する。			施策 36 地域安全の推進
地域における防災力の強化をはじめ、自主防災組織などに対する効果的な支援策を実施する。			施策 37 危機管理対策の強化
耐震化に関する情報提供や耐震化の必要性などを広く周知するとともに、市民が積極的に耐震化に取り組めるよう、耐震相談・助言の機会及び助成を行う。			施策 62 震災に対応した建築物の誘導

②ひとり暮らし高齢者世帯の地域との関わりの充実			
<p>・高齢者の社会的な孤立を防ぎ、地域とのつながりをつくるため、地域活動への参加支援など、高齢者の社会参加を促進します。また、新聞、郵便等の配達事業者と協働し、単身高齢者を見守る仕組みを構築します。</p>			
重要業績評価指標（KPI）	現状値	目標値（H31）	備考
高齢者単身世帯のサロンへの参加者数	〇〇人	〇〇人	
見守り制度の登録業者数	〇〇社	〇〇社	
主な取組			総合計画の位置づけ
ひとり暮らし高齢者等の交流活動を促進するため、各地域に高齢者の交流の場を提供し、高齢者同士の関係の構築を推進する。			施策11 高齢者の生きがいつくりの支援
新聞配達、郵便配達、宅配便等の配達事業者と協働し、単身高齢者世帯の見守り制度を構築する。			施策13 高齢者の生活支援

③多世代交流の促進			
<p>・子ども、大人、高齢者の3世代の交流を促進し、地域社会を支える共同体の機能を深めて、地域課題の解決につなげることを目指します。</p>			
重要業績評価指標（KPI）	現状値	目標値（H31）	備考
自治会加入率	60.39%	65.0%	
市民提案型市民活動支援事業応募件数	11件	21件	
主な取組			総合計画の位置づけ
地域住民の交流とふれあいの場を広げ、コミュニティ活動を活発にするため、各種イベントを通して地域に親しみ、住民同士のふれあいの機会を提供する。			施策58 地域コミュニティの活性化支援
NPO・ボランティア団体や、先駆的な事業を実施する市民団体の活動を支援する。			施策59 民間活力による地域貢献活動の促進

（２）地域コミュニティの活性化を促すストックの有効活用

①公共施設・インフラの計画的な管理及び運営			
<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設マネジメントの取組として、公共施設の最適化と計画的保全に努め、市民が将来にわたり良好な環境で施設を利用できるよう努めます。 ・老朽化が進むインフラ（道路・公園等）を長期にわたり安全に管理していくため、インフラマネジメント計画を策定し、推進します。 			
重要業績評価指標（KPI）	現状値	目標値（H31）	備考
公共施設の市民 1 人当たりの延床面積	2.51m ² /人 (H23)	2.51m ² /人	
公園や都市緑化で緑あふれるまちとしての市民満足度	70.3%	74	
主な取組			総合計画の位置づけ
第 1 次府中市公共施設マネジメント推進プランに基づき、公共施設の最適化を推進する。また、計画的保全については、保全計画を策定し、効果的な予算配分やライフサイクルコストの低減につなげていく。			施策 81 長期的視点に立った公共資産の維持・活用
だれもが安全に安心して公園を利用できるよう、様々な担い手による管理の仕組みを構築し、地域住民などが主体となった維持管理を促進する。			施策 28 緑のまちづくりの推進

②空き家などの活用			
<ul style="list-style-type: none"> ・空き家、空き店舗、工場跡地等は、経済活動や地域活動に活用できる重要なストックであることから、これらを有効活用し、地域コミュニティ拠点の整備などを目指します。 			
重要業績評価指標（KPI）	現状値	目標値（H31）	備考
空き家件数	〇〇件	〇〇件	
内容・目標			総合計画の位置づけ
市内の「空き地・空き家調査」を実施し、必要に応じて管理者指導を行うとともに、活用に向けた体制整備を行う。			施策 30 まちの環境美化の推進